

令和5年度 学校評価

内子町立立川小学校

【評価基準】 A：目標を達成（80%以上） B：おおむね達成（60%以上） C：あまり達成できていない

アンケート配付56枚 回収51枚（回収率91.1%）

項目	設問	評価	回答者	アンケート結果（7月）					達成率	評価	アンケート結果（12月）					達成率	評価	学校による考察	学校の取組・改善策
				4	3	2	1	無			4	3	2	1	無				
確かな学力	1 児童は、楽しく学校生活を送っている。	A	児童	18	1	0	0	0	99	A	15	1	0	0	0	98.4	A	【設問1】 概ね肯定的な評価をいただいた。 【設問2】 「学習内容の理解」の項目では、保護者の肯定的な評価が増えた。 【設問3】 「分かりやすい授業」の項目では、児童、保護者から肯定的な評価をいただいたが、授業改善を課題としている教職員が見られる。	・授業研究を充実させ、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善に努めた。表現力の育成に注力し、自分の考えを進んで述べたり、友達の意見を共感的に聞いたりする態度が育ってきた。少人数学級の特性を生かし、個に応じた学力の向上のための工夫を図り、児童一人一人の特性に合わせたきめ細やかな指導に取り組んだ。 ・複式授業スタイルのメリットを生かし、児童自らが主体的に学習に取り組むことができるよう、より一層工夫する必要がある。
			保護者	12	4	0	0	0	93.8	A	10	4	0	0	2	92.9	A		
			教職員	3	4	0	0	0	85.7	A	1	6	0	0	0	78.6	B		
			学校関係者	8	3	0	0	0	93.2	A	9	3	0	0	0	93.8	A		
	2 児童は、学校で習っている内容が身に付いている。	A	児童	16	1	2	0	0	93.4	A	12	4	0	0	0	93.8	A		
			保護者	3	12	1	0	0	78.1	B	6	7	1	0	2	83.9	A		
			教職員	2	5	0	0	0	82.1	A	1	6	0	0	0	78.6	B		
			学校関係者																
	3 教職員は、分かりやすい楽しい授業を工夫している。	A	児童	17	2	0	0	0	97	A	15	1	0	0	0	98.4	A		
保護者			9	6	1	0	0	87.5	A	8	4	1	1	2	83.9	A			
教職員			3	2	2	0	0	78.6	B	1	4	2	0	0	71.4	B			
学校関係者																			
豊かな心	4 学校は、児童をよく理解しようと努めている。	A	児童	18	1	0	0	0	98.7	A	15	1	0	0	0	98.4	A	【設問4】 「児童理解」の項目では、概ね肯定的な評価となった。 【設問5】 「思いやりと仲間意識」の項目では、概ね高評価をいただいているが、不安を感じている保護者がいる。	・学校生活アンケートや全教職員による教育相談等を通して、学校生活の実態把握に努めた。悩みの有無に関わらず、個別に話を聞く時間を設け、児童が健康で安心して学校生活が送れるよう努めた。情報交換を密に行い、児童のサインに気付いて早期の対応を行うよう努め、その記録を残すことを徹底した。
			保護者	10	6	0	0	0	90.6	A	6	9	1	0	0	82.8	A		
			教職員	4	2	1	0	0	85.7	A	5	2	0	0	0	92.9	A		
			学校関係者	6	3	0	0	2	92	A	9	3	0	0	0	93.8	A		
	5 学校は、児童一人一人のよさを生かし、思いやりの心や仲間意識を育てる異学年活動の充実に努めている。	A	児童	15	3	1	0	0	93.4	A	15	1	0	0	0	98.4	A		
			保護者	10	6	0	0	0	90.6	A	7	7	2	0	0	82.8	A		
			教職員	4	3	0	0	0	89.3	A	5	2	0	0	0	92.9	A		
			学校関係者	6	5	0	0	0	88.6	A	9	3	0	0	0	93.8	A		
	小学校・家庭・地域の連携、他	6 学校は教育方針や学習の様子などを、保護者や地域に分かりやすく伝えている。	A	児童	15	2	2	0	0	92.1	A	11	5	0	0	0	92.2		
保護者				10	6	0	0	0	90.6	A	13	3	0	0	0	95.3	A		
教職員				5	2	0	0	0	92.9	A	5	2	0	0	0	92.9	A		
学校関係者				5	5	0	1	0	81.8	A	7	4	1	0	0	87.5	A		
7 教職員に児童の心身の健康などについて相談できる。		A	児童	14	5	0	0	0	93.4	A	11	5	0	0	0	92.2	A		
			保護者	8	6	2	0	0	84.4	A	8	6	2	0	0	84.4	A		
			教職員	3	4	0	0	0	85.7	A	1	6	0	0	0	78.6	A		
			学校関係者	6	3	1	0	1	87.5	A	5	5	2	0	0	81.3	A		
8 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。		B	児童	16	2	0	1	0	93.4	A	10	6	0	0	0	90.6	A		
	保護者		6	7	3	0	0	79.7	B	4	6	5	1	0	70.3	B			
	教職員		3	3	1	0	0	82.1	A	1	4	2	0	0	71.4	B			
	学校関係者																		
9 児童は「早寝、早起き、朝ごはん」を習慣化している。	B	児童	13	5	1	0	5	90.8	A	11	4	1	0	0	90.6	A			
		保護者	8	5	3	0	0	82.8	A	7	5	2	2	0	76.6	B			
		教職員	2	5	0	0	0	82.1	A	1	4	2	0	0	71.4	B			
		学校関係者																	
10 学校は地域と交流を図り、連携を取りながら教育活動を行っている。	A	児童	16	2	1	0	0	94.7	A	13	3	0	0	0	95.3	A			
		保護者	10	6	0	0	0	90.6	A	12	4	0	0	0	93.8	A			
		教職員	3	4	0	0	0	85.7	A	5	2	0	0	0	92.9	A			
		学校関係者	6	4	0	0	1	90	A	6	5	1	0	0	85.4	A			
11 学校は、校舎や運動場等の施設・設備の整備に努めている。	A	児童	18	1	0	0	0	98.7	A	16	0	0	0	0	100.0	A			
		保護者	11	5	0	0	0	92.2	A	9	7	0	0	0	89.1	A			
		教職員	3	4	0	0	0	85.7	A	4	3	0	0	0	89.3	A			
		学校関係者	6	4	0	0	1	90.0	A	8	4	0	0	0	91.7	A			
目指す児童像	12-① 実践力のある、たくましく元気な子	A	児童	16	1	2	0	0	93.4	A	14	2	0	0	0	96.9	A	【設問12-①】 「元気な子」の項目では、教職員の評価が低くなっている。 【設問12-②】 「明るい子」の項目では、概ね肯定的な評価となっている。 【設問12-③】 「考える子」の項目では、不十分であると感じている教職員もいる。	・CSコーディネーターと連携しながら諸行事へ参加したり地域の方々や交流したりする機会を持つことができた。各学級、ゲストティーチャーを招いて体験学習に取り組むことができた。 ・他校との交流や学校運営協議会との連携を通してたくさんの人と関わり合う場を設定したくましい立川つ子の育成に努める。
			保護者	6	8	0	0	2	85.7	A	4	9	1	0	2	80.4	A		
			教職員	1	4	2	0	0	71.4	B	1	4	2	0	0	71.4	B		
			学校関係者	5	6	0	0	1	86.4	A	4	5	1	0	2	82.5	A		
	12-② 思いやりのある、やさしく明るい子	A	児童	17	2	0	0	0	97.4	A	14	2	0	0	0	96.9	A		
			保護者	10	5	0	0	1	91.7	A	8	6	0	0	2	89.3	A		
			教職員	3	4	0	0	0	85.7	A	5	2	0	0	0	92.9	A		
			学校関係者	6	5	0	0	0	88.6	A	5	6	0	0	1	86.4	A		
	12-③ 自ら学び、粘り強く考える子	A	児童	15	3	1	0	0	93.4	A	10	6	0	0	0	90.6	A		
保護者			5	8	1	0	2	82.1	A	5	7	2	0	2	80.4	A			
教職員			0	6	1	0	0	71.4	B	1	4	2	0	0	71.4	B			
学校関係者			6	4	1	0	1	86.4	A	5	5	0	0	2	87.5	A			

※ A：当てはまる B：だいたい当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない 無：分からない
 ※ 達成率は、A=4点 B=3点 C=2点 D=1点 として、
 (各人数をかけて出した総得点) ÷ {総人数 (分からないを除く) × 4点} × 100で計算